

(一社) 千葉県公認心理師協会 対面研修実施ガイドライン

(2020.8.2 版)

対面研修等実施時にいわゆる「三密（密閉・密集・密接）」を避けるため、以下のガイドラインを定める。

○運 営

①スタッフ

- ・スタッフは検温を行い、発熱や息苦しさ、咳、倦怠感等の症状が見られる場合は参加を控える。また、家族など同居人に上記症状がある場合も同様とする。
- ・研修開催時は原則としてマスクを着用する。
- ・手洗い、手指の消毒、うがいを励行する。

②会場

- ・研修中は窓を開けるなどの換気を行う。
- ・窓がない場合は入り口の開放、換気扇等を用いる。
- ・入り口の開放が行えない場合は、進行のバランスを考慮しながら適宜中断し（例：45分ごとに5分間、1～2時間ごとに5～10分間など）、入り口を開放し換気を行う。
- ・休憩中は換気を必須とする。
- ・ドアのノブや取手、手すり、スイッチなどを消毒する（研修の開始前と終了後）。
- ・講師と受講生は2メートル以上の間隔を開ける。
- ・受講生は1メートル以上の間隔を開けるか一つおきに着席し、向き合う場合は正面を避ける。
- ・会場で昼食をとる場合は窓や入り口を開放し、ソーシャルディスタンスを保つ。
- ・主催者は会場の定員に対し 1/2 の参加募集とするが、別途会場の規定がある場合はそちらに従う。

③研修内容

- ・グループワークや討議を行う場合は必ずマスクを着用の上、できるだけ小声で行う。
- ・身体接触をともなうワークは極力行わない。
- ・物品や道具等の共用は行わない。やむを得ず行う場合は、都度アルコール綿等で消毒することを必須とする。

○受講生

- ・受講時は入室時に、検温と健康チェックを受け、主催者側が準備した器具等で手指の消毒を行う。
- ・発熱や息苦しさ、咳、倦怠感等の症状が見られる場合は参加を控える（その場合の参加費は全額返還する）。また、家族など同居人に上記症状がある場合も同様とする。
- ・受講時は原則としてマスクを着用し、適宜水分補給を行う。
- ・ゴミは各自で持ち帰る。
- ・受講後に感染症が判明したときは、速やかに当協会に連絡を入れる。

以上